

運動をすすめる取り組みをすすめます。

- ◆まちづくりの視点で、要求毎の運動だけでなく、互助組合が民主団体や地域団体と幅広く連携、協力していきます。
- ◆各支部で組合員名簿や居場所の地図おとし作成で、「見える化」と活動分析をすすめます。
- ◆居場所の充実と居場所マップを全支部エリアで作成する事をすすめます。

2. 魅力ある取り組みで「共同組織をさらに大きく」発展させるために

- ◆担い手づくりのために、地域と共同して子ども対象の無料塾やこども食堂、病院探検隊などの企画で若い親層へアピールし、新たな担い手をさがします。
- ◆地域の福祉力を高め、相談活動や地域の困りごとを情報共有し、他団体の「お助け隊」などと連携して対応をすすめます。
- ◆組織活性化のために、支部分割の推進会議を立ち上げます。
- ◆組合員の実質的な減少と世代継承にむけて、実質2万世帯を回復し、さらなる峰をめざします。あわせて、名簿整備の方法をプロジェクト中心に進めます。
- ◆支部活動は運営委員が主に！事務局はサポート係へ。支部役員の役割を明確化し、あわせて事務局体制の充実も追求します。また、班会のあり方として、より活動を広げるために支部が自主的に動ける体制づくりをすすめます。
- ◆健康チェックセットの定期貸出や機器（骨密度や足指力計など）増設を検討します。
- ◆健康チェック専用カーの導入を検討します。
- ◆広報活動を強化しホームページの充実や互助組合の良さが伝わる宣伝チラシ等を作成します。
- ◆9月に開催される「第15回全国共同組織交流会（山梨）」の成功に取り組みます。

3. 「職員との協力共同」を深化させるために

- ◆病院リニューアルの実現にむけ、共同組織であ

る互助組合として、組合員からの声をあつめて要望をだしていくことをすすめます。

- ◆健康診断のわかりやすさ追求と宣伝強化に取り組みます。
- ◆認知症予防は職員と地域で取り組む活動にします。
- ◆HPH活動を通して経済的支援ツールの活用や社会的処方充実させます。
- ◆「わたしのカルテ」の普及に取り組みます。
- ◆「もちつき」や「盆おどり」など事業所や地域とともに取り組みます。

4. 「平和と憲法と人権」をまもるために

- ◆革新懇や憲法共同センター等と協力し、憲法を守り改憲発議をやめさせる取り組みを強化すると同時に、3月に改定された特措法による緊急事態宣言の乱用をさせない取り組みをすすめます。
- ◆NPT再検討会議への代表派遣は、残念ながら新型コロナウイルスの関係で叶いませんでしたが、引き続き、原水協に結集し8月の世界大会参加や核兵器廃絶や原発ゼロに向けた取り組みを強化します。
- ◆人権を守り社会保障制度の充実をめざして、全世代型社会保障改革にある医療や介護、労働、年金改悪を許さない運動に取り組みます。
- ◆地域社協や地域住民と共に、地域医療をまもる取り組み（病院統廃合問題など）をすすめます。
- ◆自然災害などへの防災対策や学習、大気汚染など地球環境問題に取り組みます。
- ◆総選挙では「市民と野党共闘」を実現させ勝利をめざします。

基本課題 (目標)	■仲間ふやし	850件
	■出資金	10000件
	増資1億円(純増で5000万円)	
	■いつでも元気	450部
	■世話人づくり	組合員50人に対して1人 (配達協力者含め400人)
	■転居先不明除く組合員	20,000世帯回復

東神戸医療互助組合

2020年度総代会方針(案)

スローガン

- ▶一人ぼっちの組合員をなくし、安心して住み続けられるまちづくりに取り組もう！
- ▶担い手づくり（お世話がかり）を協力しあって組織し、いきいきとした支部建設をめざして行きましょう。実質2万世帯を回復し、さらなる峰をめざしましょう！
- ▶9条改憲阻止、25条（生存権）、健康権、環境問題を憲法に照らし他団体と連携し、たたかいぬきましょう！



2019年6月2日の第43回総代会

はじめに

2019年度、私たちの活動は「健康まつり」を約2000人の参加で成功させ、健康チェックや医療懇談会、居場所づくり、支部企画やサークル活動をとおして、地域で「安心して住み続けられるまちづくり」を実践してきました。基本課題では2019

年10月に消費税が増税され、日本全体の経済状況の悪化や社会保障の改悪による受診者数の減少、組合員の世代交代の課題等もあり、加入および増資が厳しい到達となりました。

情勢では、2019年12月頃に発生した新型コロナウイルス感染症は世界的な感染拡大となり、経済的にも社会的にも大きな影響を与えています。政府の対応の遅さが目立ちました。全世代型社会保

第44回総代会会場のご案内

とき

6月7日(日)
午前 9時30分開場
10時00分開始

ばしょ

中央労働センター2F 大ホール
☎ (078) 341-2271
市営地下鉄「県庁前」駅西北へ8分、高速神戸鉄道「花隈」駅北へ10分、JR「元町」駅西北へ15分、阪神「元町」駅西北へ15分

障の中間報告では、医療や介護、労働などの改善が打ち出されました。自公政権は、桜問題やIR閣僚不祥事などでも、モリカケに続き国民への説明すらまともにしない状態を続け、完全に末期状態となっています。総選挙では「市民と野党の共闘」でまともな政治をとりもどしましょう。

2020年度は、5年に一度のNPT（核不拡散条約）再検討会議がニューヨークで開催される年です。今回は初めて原水爆禁止世界大会も同地で開催される予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染の影響で中止となりました。2019年に38年ぶりに日本を訪れたローマ教皇は「核兵器のない世界は可能であり必要だ」と明言しました。ヒバクシャ国際署名の取り組みをさらに強め、平和憲法を守る運動を上げていきましょう。大気汚染や環境汚染が原因となる地球温暖化により、台風や水害など自然災害も多発しています。国連で合意されたSDGs（エスディーゼイズ：国連が提唱する持続可能な17の開発目標）は環境問題を始め、健康や貧困、社会問題に警鐘をならしています。互助組合としても、これらの学習と実践に取り組みます。以下、今年度の活動方針について提起します。

2019年度のまとめ

- ※2020年2月より新型コロナウイルス感染症の拡大で各種行事が中止・延期になりました。
- ※▶印は2019年度方針、「⇒」印の後ろがその実践を示しています。

「共同組織の力」を発展させるために

- ▶ やりがいと楽しさを感じる互助組合活動づくりをすすめます。支部役員などの「世話人さがし」と「後継者づくり」の強化をすすめます⇒新しい担い手が集まる居場所づくりや班会などを進め、新しい運営委員が7人増えました。
- ▶ 「居場所づくり」と「1支部1助け合い運動」を継続します⇒6カ所ある居場所では、各支部が中心に食事会や喫茶、囲碁将棋や手芸、カラ

オケなど多彩な活動を繰り広げました。1支部1助け合い活動の実践は継続課題です。3月に予定した「ボランティア慰労会」はやむなく中止となりました。

- ▶各支部の運営委員の学習や経験交流の場をつくります⇒教育学習委員会を中心に「新運営委員のつどい」などを実践。3月に予定した「運営委員学習交流会」はやむなく中止になりました。
- ▶広報活動を強化し、ニュースやホームページの充実で情報発信をすすめます⇒より見やすく活動が伝わりやすい健康ニュース作成を行いました。ホームページの活用は今後の課題です。
- ▶互助組合員名簿の整備をすすめます⇒名簿管理プロジェクトを発足し、転居先不明の掘り起こしや加入申込書の更新、規約改正の検討をすすめています。

「健康づくり」と「保健予防活動」でまちづくりを発展させるために

- ▶健康チェックや組合員健診の意義と活動をさらに地域で広げます⇒新たな場所での健康チェック開催を複数の支部が実践し、リピーターの増加を実現し、健康増進の互助組合活動を広くアピールできました。乳がん／胃がん／肺がん等の制度健診普及とフレイルチェック（加齢により心身が古い衰えた状態をチェックすること）や新たな健康チェックの実施、神戸市認知症検診の普及にも取り組みました。
- ▶医療懇談会や班会をとおして医療や介護などを学べる場を提供します⇒月間を中心に医師や薬剤師など職員が積極的に講師活動を実践。3月に予定した「第13回医局と互助組合の懇談会」はやむなく中止になりました。
- ▶健康に役立つ行事を継続して行います⇒「ヘルスアップチャレンジ」「大腸がんチェック」「健康料理教室」などを開催し、保健委員会を中心にどの企画も多くの組合員が参加し成功しました。
- ▶認知症対策を地域でひろげサポーターを増やします⇒インストラクター養成講座は開催できま

せんでしたが、脳いきいき班会は定期的に各支部の班会で実践。認知症予防ネットの講演会にも積極的に参加しました。

- ▶HPH（健康増進活動拠点病院）活動を継続します⇒東灘では居場所マップを更新し普及。対話率も向上しています。
- ▶地域団体や自治体との連携をすすめます⇒班会への「あんしんすこやか窓口」職員の参加や、各コープ店舗での健康チェックや医療懇談会の開催など連携が深められました。

「共和会との共同」を発展させるために

- ▶職員と日常の組織活動へ参加協力体制をすすめます⇒各班会や医療懇談会への職員参加は積極的に行われ、訪問行動では、東灘で500件を超える訪問を行い、各事業所と支部の合同の訪問行動も実現しました。
- ▶私たちの病院のリニューアルに向けた増資運動に取り組みます⇒増資運動は振込用紙作戦で150万円の増資があるなど奮闘したものの、世代継承や経済的理由による減資もありましたが、最終盤で緊急アピールをだし、多くの増資の協力が得られ、純増をプラスで終えることができました。
- ▶11月に開催する「健康まつり」を成功させます⇒初の屋内開催（ハーバーランド）にも関わらず、2000人の参加で成功をおさめることができました。
- ▶「新入職員オリエンテーション」や「いつでも元気交流会」などを取り組みます⇒4月には「新入職員オリエンテーション」で講義と組合員さん訪問を行い、新入職員全員の組合加入につながりました。11月におこなった「いつでも元気読者交流会」は体操の講師でリハビリ科職員が参加しました。
- ▶各支部と事業所が協力して行事に取り組みます⇒「盆踊り」「もちつき」など今年は天候不良により中止のところもありましたが東灘、葺合北、葺合南、生田、北神、兵庫エリアで地域とも協力し、企画を成功させました。

「平和憲法と社会保障」をまもるために

- ▶憲法9条3000万署名と改憲阻止、核兵器廃絶と原発ゼロに取り組みます⇒班会や医療懇談会で社保平和の課題をテーマに対話で広げ、改憲NO3000万署名（8,687筆）やヒバクシャ署名（3,739筆）に取り組みました。
- ▶社会保障制度の充実と消費税10%増税を許さないたたかいをすすめます⇒「75歳以上2割化反対」署名（2,504筆）、「25条署名（1,303筆）」、「介護保険署名（692筆）」などに取り組みました。国保アンケートも共和会とともに、実施し100件を超えるアンケートが回収されました。
- ▶様々な要求実現のための各団体のセンター機能を担います⇒地域社協や原水協、革新懇、憲法共同センター、敬老福祉パス改悪問題、病院統廃合問題などの事務局を担うなど各活動に参加し取り組みました。
- ▶自然災害などへの防災対策とまちづくりに取り組みます⇒東灘では空気の汚れ調査実行委員会総会を開催。石炭火力発電問題などの大気汚染問題に取り組みました。防災のための学習や行政への要求は今後の課題です。
- ▶統一地方選や参議院選挙をとおしての世直し運動をすすめます⇒4月の統一地方選、7月の参議院選挙では、世直し運動に積極的に各自が参加。地方行政の要求実現や、国政では市民と野党の協力で改憲勢力の3分の2を食い止め発議阻止に向けて取り組みました。

2020年度方針

1. 「安心して住み続けられるまちづくり」を発展させるために

- ◆「安心して住み続けられるまちづくり」を実践する事をすべての活動の大前提とします。
- ◆環境問題や貧困対策などSDGsの学習と実践、そして、生存権や健康権について考え、実践と